

発行日: 2016年11月18日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:

製品名称: バイオハクリ21A

製品番号(SDS NO): 00884001-2

供給者情報詳細

供給者: 山一化学工業株式会社

住所: 東京都台東区上野1-10-12(商工中金・第一生命上野ビル10F)

担当部署: 生産本部那須工場技術部

電話番号: 03-3832-8121

FAX: 03-3835-3820

緊急連絡先電話: 0287-98-2780

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

GHS分類区分に該当せず

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別:

混合物

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号
水	≤50	7732-18-5	-
ジエチレングリコール誘導体	40-50	-	-
グリコールエーテル系溶剤	5-10	-	-
増粘剤	1-5	-	-
エステル系溶剤	1-5	-	-
添加剤	≤1	-	-
染料	≤0.1	-	-

4. 応急措置

応急措置の記述

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診断を受ける。

眼に入った場合

眼の中に全て水が行き届くように洗浄する。

眼をこすらせてはならない。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

粉末消火器、炭酸ガス、乾燥砂

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。
安全な距離から散水冷却して周囲の設備を保護する。

消火を行う者の保護

防火服や耐火服を着用する。
断熱手袋や保護眼鏡等を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

漏洩した場合、漏洩物を回収する。作業には適切な保護具を着用する。
こぼれた場所は滑りやすいため注意する。特に養生シートの上に付着した場合は滑るので注意する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
下水、排水中に流してはならない。

二次災害の防止策

排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
すべての発火源を取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)
漏洩物を取り扱うとき用いる全ての設備は接地する。
関係者以外は近づけない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

身体に付着しないよう、保護眼鏡、保護手袋等、適切な保護具を着用する。特に密閉環境においてスプレー等で吹き付ける場合は、ミストが充満する恐れがあるため、有機溶剤用ガスマスク、保護眼鏡は必ず着用すること。

安全取扱注意事項

換気のよい場所で使用する。
必要な保護具を着用する。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

直射日光を避ける。
冷暗所にて保管

8. ばく露防止及び保護措置

ばく露防止

保護具

呼吸用保護具

換気が十分でない場合は、呼吸用保護具を着用する。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護手袋および保護衣を着用する。
顔面保護具を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状態

形状：粘稠液体

色：青色

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

初留点/沸点： $\geq 100.0\text{C}$

引火点：なし(沸騰するまでは引火しない)

比重/密度: 1.04(20 C)

溶解度

水に対する溶解度：溶ける

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

予期される通常の保管および取り扱いの条件において安定と考えられる。

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(ジエチレングリコール誘導体)

4400 mg/kg (JPMA第5版)

局所効果

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]

(グリコールエーテル系溶剤)

ラビット (SIDS (Access on July, 2008))

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

水生毒性(急性) 成分データ

[日本公表根拠データ]

(グリコールエーテル系溶剤)

魚類(メダカ) LC50/96hr $> 100\text{ mg/L}$ (環境省生態影響試験, 1998)

水溶解度

(エステル系溶剤)

6.5 g/100 ml (20 C) (ICSC, 2004)

(増粘剤)

溶けない (ICSC, 1997)

(グリコールエーテル系溶剤)

100 g/100 ml (SRC, 2005)

生体蓄積性

(エステル系溶剤)

log Pow=2.9 (ICSC, 2004)

(グリコールエーテル系溶剤)

log Pow=0.02 (ICSC, 2003)

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

廃棄物は、許可を受けた、産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さない。

排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をする。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号に該当しない

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

有害液体物質(Y類)

ジエチレングリコール誘導体; エステル系溶剤

有害液体物質(Z類)

グリコールエーテル系溶剤

有害でない物質(OS類)

水

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

有機溶剤等に該当しない製品

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)

2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)

2016 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 (2012年)

Supplier's data/information

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。